

織田信長

「大うつけ者」



子どものころ、「大うつけ者」(大ばかも

の)とよばれていたぶしやうがいます。尾張

の国(今の愛知県)の織田信長です。しか

し、じつはだれよりも新しいものがすきな、

じゆうな心のもちぬでした。

一五六〇年、桶狭間の戦いで、信長は

大ぐんをひきいる今川義元にわずかな人数で

いどみ、見ごとにかちました。そのけっか、

信長の名は、日本中に知られました。

また、てっぼうをいちはやく戦いにとりい

れ、戦い方をかえました。琵琶湖のほとりに

は安土城という大きなお城をたて、お城のま

わりでは、だれでもじゆうに商売ができまし

た。

しかし、天下を一つにするまであと少しの

ところで、信長はけらいの明智光秀に本能寺

でおそわれ、その一生をおえしました。

せんたく(1)

信長がいちはやく戦いにとりいれた、新しいぶきは
どれですか？

えらんで○をつけましょう。

①ゆみ

②てっぼう

③やり

せんたく(2)

信長がたてた、大きなお城はどれですか？
えらんで○をつけましょう。

①大阪城

②安土城

③江戸城

きじゅつ(1)

信長のまちでだれでもできたことは何でしょうか？

きじゅつ(2)

信長を本能寺でおそったけらいはだれでしょうか？

かん字

かん字に直して書きましょう。

(1)うま

(2)つよい

(3)ぜんご

	い	

こたえ

織田信長おだのぶなが

せんたく

(1) ②
(2) ②

きじゅつ

(1) しょうばい
(2) あけちみつひで

かん字

(1) 馬うま
(2) 強いつよ
(3) 前後ぜんご